

第 8 回	介護・医療連携推進会議 議事録
--------------	------------------------

開催日時	平成 30年 1月 16日(火)	16:00～17:00
開催場所	加野クリニック 1階	

書記 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者 藤谷

出席者	古賀市 介護支援課 介護保険係 地域医療法人 地域住民 利用者家族 訪問看護ステーションE 社会福祉法人豊資会 豊資会 地域連携室 訪問看護ステーションD 豊資会定期巡回訪問介護ステーション	担当者様 院長様 A様 C様 担当者様 理事長 相談員 看護師 管理者
-----	---	---

1、開会の挨拶

良い制度なのだが、なかなか浸透しない。2年前にこの事業を始めたとき、まずは在宅からと思ってやってきたがなかなか増えない。介護付でない住宅型有料老人ホームなどにお住まいの方もお体の状態が悪くても住み続けるために定額制のこのサービスが必要と思っているが、地域密着型である点や他サービスの利用との兼ね合いなどもあり、なかなか苦戦している。このままでは事業としての継続が危ぶまれる、住宅型ともコラボしながら本サービスの安定運営を目指したい。

2、活動状況報告

- ①10～12月、利用者総数、男女別・年齢別・要介護度別・世帯別の利用者分類
- ②新規利用者、人数・介護度・世帯状況・依頼理由
- ③訪問回数、随時訪問回数と内容、コール回数、内訳
- ④時間帯別訪問回数
- ⑤具体的な支援状況
 - ・介護度の高いご利用者が増えて、訪問回数が増えている
 - ・職員獲得のために介護の仕事の紹介や、介護職員から話が聞けるように茶話会を行った。介護に関心のある人、地域の力をもっと生かすことが出来ないか模索中
 - 介護の裾野を広げたいと思っている。
 - ・資料を作成して、エリアを広げて病院の地域連携室、居宅支援事業所への案内を行った
 - 新規の打診は来るが、利用限度額がオーバーするので他サービスの利用が出来ないことで、利用につながらないケースが多い。
 - ・痰の吸引が出来るよう、職員3名が資格を取り、特定事業所の指定を受けた。

3、自己評価

・事業所として力を入れている点

項目番号17・18 介護職と看護職の専門性を生かした役割分担、看護からの指導助言
訪問看護からの毎月アセスメントで留意点や申し送り事項を受けている。介護側からも経過報告書を看護側へ渡している。緊急の場合は随時、報告・相談をし行っている。

コメント

事業所同士の連携がよく取れており、細かいと感じた。

項目番号11、13、16 計画作成責任者3名を外部研修受講させた。

項目番号22 ケアマネジャーとの情報共有

コメント

以前から報告書が細かい、利用者の様子が映像で浮かぶようでありがたい。

・昨年から比べて変わったところ

項目番号9 サービス提供に係る職員の安全確保
安全管理の面で夜勤を全て男性職員とした。

・出来ていないところ

項目番号3 オペレーターの判断能力向上の研修、職員育成の具体的な仕組み
緊急通報自体が少なく、コールがあればほとんど訪問しているので、判断する事例がほとんどない。

コメント

私が依頼したご利用者は非常に満足されていた、職員のコミュニケーション力の高さだと思う。一人の利用者に沢山の職員が関わるので、職員のスキルにばらつきがないようにお願いしたい。

・これから取り組んでいくところ

項目番号8 利用者等の状況について、迅速に共有できる・・・

申し送りをパソコンと手書きの両方で行っているが、確実に負担の少ない情報共有のあり方を模索する。

4、意見交換

・地域医療の立場から

これからは、入院期間が短くなってくる、居宅の介護看護を充実させないと難民が出ると思う。
自分の家で過ごすと言うことは大切なこと、なるべく自宅で自由に過ごしてほしいと思っている

・人材確保について

茶話会は職員募集だけでなく、対象を利用する側にも広め、介護の話全般が聞ける会にすると良かったのでは。

大学生の活用はどうか、学生のスキルアップとしてなら大学に話を持って行きやすい。

・訪問看護の利用について

良い制度だと思うが、訪問看護の単位数が低く、他の訪問看護ステーションに依頼しづらい。

5、次回開催日程

平成30年4月17日(火) 16時～

